

浜松観光ボランティアガイドの会

新入会員現地研修会（浜松駅周辺）

5月21日、やや薄曇りでしたが、外歩きには程よい陽気の中、新入会員8名（以下、20期生）に対する浜松駅周辺のインフォメーション活動実施研修会が行われました。

研修に先立ち、大村会長の挨拶、引き続き鈴木研修部長からは、研修部による20期生現地研修会は今回にて終了し、今後はブロック毎の研修に委ねられる旨の挨拶がありました。次に、観光インフォメーションセンター（以下IC）の杉田センター長からのご挨拶を受け、実施研修へと進みました。

指導は、前半を益田研修部員（北ブロック）、後半を伊藤研修部員（東ブロック）が担当し、20期生に配布されたレジメに沿って、63ヶ所の説明がされました。

この研修は次の3つのコースに大別されます。そして夫々の概要を述べます。

- I. 南方面（1～17）
- II. 駅西・北方面（18～51）
- III. 駅西方面（52～63）

I. ICから出発、このコースは鰻屋、餃子店等が点在、多少グルメ街的雰囲気があります。研修部員からは、観光客には店の特徴だけに止め、強く推薦をしないようにと説明されました。

II. 南口タクシー乗り場から、駅構内に入り、店舗を見て回りました。特に銀行、ATMの場所を聞かれることが多いので、留意とのこと。次にザザ方面。この方面では千歳町、かつての歓楽街を通り抜けて歩行。ネオンが瞬く時刻になると、十分ガイドができそうな20期生の方々がチラホラ。ラスト近く、遠鉄百貨店新館9階から富士山を展望。薄曇りと同じ色調ながら、ややぼやけて輪郭が見える。20期生の方々の活躍をひっそりと応援しているように見えました。

III. 今年11月に浜松国際ピアノコンクールが予定されています。この時期は、コンクール目的の観光客が増え、ショパンの丘、楽器博物館への案内も増えることでしょう。ショパン像や楽器博物館の

知識だけでなく、音楽の話題も仕入れておくべきかも知れないと感じました。

最後に20期生皆さんの感想。

「近場に住んでいながら知らないことが多かった。特にオストメイトの場所、役割は参考になった」「今日のコースを地図に線引きし、改めて認識を深めたい」「駅南において、グルメ系の店舗を再認識した」等々、見慣れた風景ではあるが、ガイドという立場で観ると、自主的な実施検証が必要であるとの意見に集約されるように感じました。

広報部 古本俊夫（南ブロック）



インフォメーションセンターで



ショパンの像の前で



研修を受ける20期生の皆さん

第5回 出世の街浜松 家康公祭り

6月2日と3日に浜松城公園にて「第5回出世の街家康公祭り」「第11回家康楽市 in 浜松出世城2018」が開催された。

梅雨入りが間近にも関わらず、2日間とも終日晴天に恵まれて大勢のお客さまで賑わっていた。

他県から「名古屋おもてなし武将隊」「岐阜城盛り上げ隊」、ご当地浜松からは「浜松徳川武将隊」「グレート家康公『葵』武将隊」が登場し、“家康くん”始め、ゆるキャラがステージ上でムードを盛り上げていた。



美羽ちゃんと磯田さんのトークショー

2日のトークショーは、祭りの「スペシャル実行委員長」を務める、昨年大河ドラマ「おんな城主 直虎」で、おとわ役を演じた新井美羽ちゃんが遠州織物の洋服姿で、浜松市文化顧問で歴史学者の磯田道史さんが陣羽織を着用して登壇し、美羽ちゃんは“ウナギがおいしい”と笑顔を振りまき、磯田さんは浜松の土地柄や人柄について話した。また、浜松市立高生徒の伴奏でドラマの挿入歌の「竜宮小僧」を美羽ちゃんが披露すると聞き入って、歌い終わると会場内のお客さまから大きな拍手が湧いた。

今年「静岡デスティネーションキャンペーン」のプレイベントとしてJR 東海が企画した、臨時急行列車「家康公祭り」号が運行され「鉄ちゃん」が熱海、名古屋から来浜した。熱海からは講師の田辺一邑さんが同乗し、ツアー希望者を募り、浜松駅→浜松八幡宮→椿姫観音→元城町東照宮→浜松城を案内したとのこと。

当会も、太田副会長、鈴木事務局長、各ブロックから1名の応援要員で待機体制を敷いたが、祭りに参加するのであれば、「観光ガイド要請」を待つのではなく、こちらから誘客する方策を考える必要性を感じた2日間であった。

広報部 小池輝夫(東ブロック)

東小学校同行ガイドに参加して

校外学習の同行ガイドで「家康の散歩道」を歩いた。6月8日、梅雨の合間という日照りで、各自水筒が手離せない日だった。御城下の東小学校6年生が対象である。ガイドとして東小に同行するのは6年目であるという強者(南ブロックの森部さん。同校出身)もいて、郷土への関心の深さを感じた。

東小は創立101年の名門である。ちょうど市の開発指定地区の真ん中であって、校舎は100mほど移された。開発に伴って町並みもすっかり変わって、昔から住んでいる人はずいぶん離ればなれになったのではなかろうか。

しかし6年生66名のうちでは「10年以上住んでいる人」という問いかけに8割近くが手を上げた。お膝元に現存する子孫が、グループに分かれて小さな列を作り巡る。八幡宮、椿姫観音、蛇屋敷跡、元黙口、引間城跡、浜松城、鎧掛松、秀忠誕生の井戸のコースである。真面目な子も腕白も、取りまぜて前後左右になりながらの見学。歩く道はコンクリートで車に注意の町並みだが、八幡宮や引間城跡など森にふれると皆の顔もほころんだ。

城下町そのものは長年の戦火で失われてしまっているから、そのせいか散歩道も今ひとつ味気ないものである。しかし、ビルが並ぶあちこちで何百年前の痕跡がいくつも残っている。それらは時を経ても確かなもので、昔を種々に物語っている。

子ども達はそれらをしっかりと目に留め、誇りをもって大人になってほしいと願う。

広報部 吉岡良子(南ブロック)



ガイドの天守台石垣の説明を聞く東小6年生

駿府城跡(天守台)発掘結果説明会に参加して

2月24日午前、午後に分け現地説明会が有りました。私は当日午後に見学しましたが、午後約900名程度(1,500名/日)の見学者が続けて訪れ、3回×約30分(説明)にて行われました。さすが大御所家康(天下普請)の築城だけに巨大さに驚きました。

<発掘計画>

- a)H28年度：天守台と本丸西辺発掘、
- b)H29年度：北辺発掘と南側調査
- c)H30年度：本丸発掘
- d)H31年度：今川遺構(天守台内側を下層まで掘下)調査の4年間で本丸、天守台、内堀の全体を調査(参考絵図と比較)しその後の整備、建設計画の資料とする。

<2年間の発掘調査成果>

- a)日本一大きい天守台である。←江戸城の約1.5倍
- b)天守台高さも、江戸時代の参考絵図の信ぴょう性が高い。
- c)天守台(石垣)の構造は、築石→(銅石)→裏栗石→裏栗巻石→盛土
- d)井戸の発見→天守台中央付近、内径約1.8m×深さ3.8m以上
- e)石垣は江戸初期のものが多いと考えられる。
 - i 天守台南側は、石垣高：5.8mで本丸と接続。
 - ii 天守台北辺は、東側にかけて高い石垣が残っている。大きな石の間に小さな間詰石を丁寧に入れている。打込み接合は、慶長(大修築時)の石垣と思われる。
 - iii 古い石垣には、赤い石や割れた石が多く火災や地震の影響による劣化が窺われる。(火災2回、地震2回)
 - iv 1辺が2m超の巨大石や大名刻印石等も多数発見。
 - v 西辺の南西隅は、切り石の算木積となっていた。

<出土品>

調査後「発掘情報館きゃっしる」等にて展示

- a)内堀や天守台から多くの瓦や刻印石を発見
- b)建築木材片：2本(黒色、長方形)→現在水槽に浸漬中
- c)今回、金箔瓦(凸部に金箔)も10点以上発見→豊臣系

北ブロック 飯塚泰夫



発掘現場(説明会場)入口



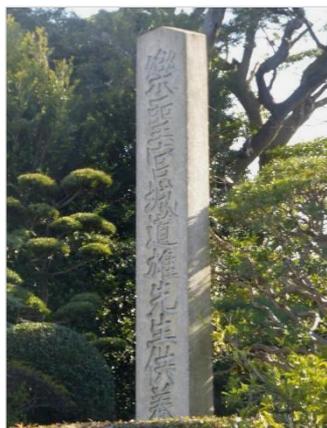
駿府城天守台模型(東御門内展示)



北辺中央部から見た天守台
[下部(2段)の白い石垣が内堀水に浸漬]

宮城道雄の終焉の地を訪ねて(愛知刈谷市)

6月25日は箏の演奏家、作曲家、随筆家の宮城道雄の亡くなった日です。宮城は、今から62年前の1956年のこの日の未明(午前3時頃)、JR刈谷駅の東へ約500mの東海道本線と名鉄三河線の交差する付近で、夜行寝台急行「銀河」から転落、救助され病院へと運ばれましたが、午前7時15分に病院で亡くなっています。事故当日の宮城の様子を克明に記録した「悲しき記録」がネットで公開されています。是非御一読ください。



宮城道雄供養塔

道雄の死については、トイレのドアと乗降口を間違えて転落したという事故説、推進していた「新日本音楽」に悩んでの自殺説など諸説ありますが、真相は謎に包まれたままです。

事故現場から東へ100mあまり離れた丘の上に供養塔が建てられ、塔の側面には宮城作曲の「春の海」「水の変態」の楽譜が刻まれています。今でも毎年6月25日には供養塔の前で法要「浜木綿忌」が営まれています。



宮城道雄転落場所付近

北ブロック 花尾四郎

新入会員の入会動機

二度目の退職を機に何かをしたい、さりとて他人様に語って聞かせる程の趣味はなし。さてどうしたものか、色々模索しておりました。そんな折、直虎ブームに引き寄せられた都内在住の知人と龍潭寺を訪れました。幼少の頃から何度も訪れた寺ではありますが、地元観光ボランティア氏の軽妙な話術に魅せられ、いつか自分も・・・という気持ちが湧いてきました。ただそれは願望だけで、その時点では、実現するとは思っていませんでした。たまたま広報にて会の募集を知り応募しました。応募にあたっては、かなり躊躇しました。傘寿に近い年齢、錚々たるキャリアの皆様とは違い、時たま自然観察指導を行ったことがある程度で全く違うジャンルの歴史、文化には自信ありませんでした。しかし馬齢を重ねた結果の凶々しさも一つの武器と自分を納得させて決断しました。講座を受けるたびに見慣れた街角や神社仏閣が歴史の宝庫であることに驚かされています。

西ブロック 高橋謙治

5月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

<<浜松城>>

1日	火	赤佐小学校	125名	27日	日	クラブツーリズム	25名
		中郡小学校	104名			セネファ(株)	55名
		県居小学校	28名			聖隷クリストファー大学	40名
		袋井市特別支援学校磐田見付分校	23名	29日	火	九豊コンサルタント(株)	22名
		(株)ファクト	21名			トヨタテクニカルシンポジウム	89名
2日	水	双葉小学校	228名			竜禅寺小学校	51名
		内野小学校	208名			村櫛小学校	27名
5日	土	タビックスジャパン	42名			ながかみ保育園	23名
9日	水	日進市年金者の会	35名	30日	水	新老人の会	45名
		国土交通省(市役所)	20名	31日	木	光明小学校	53名
10日	木	磐田市立竜洋西小学校	85名			浜松信用金庫 清水	48名
11日	金	県立浜松特別支援学校城北分校	23名			* 上記以外に20名以下の15 団体	160名
		毎日新聞旅行	22名				
12日	土	琵琶ドリームツアーズ	31名				
13日	日	松林嶋祭田	26名				
14日	月	(株)たびばる	31名				
		三重交通旅行営業課	22名				
15日	火	華光観光	36名				
		ツーリスト中部	28名				
16日	水	愛恵保育園	34名				
17日	木	北町友の会(老人クラブ)	47名				
		舘塚中学校	39名				
		袋井市特別支援学校袋井分校	23名				
		山口ユネスコOB・OG会	22名				
20日	日	西秋沢町内会	22名				
		平成駿祥会	20名				
21日	月	川島一生後援会	77名				
		浜北一税退職者会	23名				
22日	火	JTB長崎支店	27名				

<<犀ヶ崖資料館>>

16日	水	あべみちよ(代表)	11名
29日	火	村櫛小学校	12名
31日	木	富塚中学校	3名
		KTCおおぞら高等学院	60名
		光明小学校	30名

<<浜松まつり会館>>

3日	木	浜松まつり	811名
4日	金	浜松まつり	1,452名
5日	土	浜松まつり	1,074名
9日	水	豊橋市立五並中学校	45名
10日	木	なごやかクラブ 中	104名
12日	土	第67回 日本医学検査学会	31名
17日	木	与左衛門ふれあいサロン	32名
25日	金	第二宗務所第三教区	23名
		* 日曜対応(6、13、20、27日)	289名

はままつ案内人会報 195号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

浜松観光ボランティアガイド

検索



出生大名 家康くん

出生法師 直虎ちゃん